

健康医療部
医療政策課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	R1年度	R2年度	R3年度
1	市内二次救急医療体制確保事業 市内二次救急医療体制、特に受入体制の確保が困難な小児二次救急受入体制の安定的な確保を図るため、市内で小児二次救急医療を受け持つ医療機関に対し報償金を支払う。	受け入れ実施日	日	245	245	245
2	救急医療機関助成事業 住民が安心して暮らせるよう、本市の救急医療体制を確保するため、三島医療圏にある救急医療機関に対して運営経費を支出する。また、小児初期救急や三次救急等の担い手である（公財）大阪府三島救急医療センターに職員を派遣し、運営の改善及びサービスの向上を図る。	高槻島本夜間休日応急診療所本市小児患者数	人	5,049	1,218	1,916
3	急病診療所運営事業 市民の健康保持に資するため、保健医療センター併設の急病診療所において、休日や夜間の応急的な診療を実施する。	急病診療所患者数	人	4,672	990	808
4	地域医療推進事業 令和7年に向け、医療・介護の関係法令の整備により医療機関の病床機能の分化が進められ、本市の救急医療体制にも大きな影響が出ると考えられる。地域医療体制整備における市町村の役割が拡大するなか、市医師会や医療機関との連携強化を図り、将来的な地域医療体制の確保に向けた取組を推進する。また、市内の喫緊の課題解決に資する病院誘致に向けて検討を進めるため、必要となる医療機能等をまとめる基本整備構想を作成する。	三島二次医療圏救急医療検討会	回	5	6	6
		新型コロナウイルス感染症対策応援給付金支給件数	件	-	1,011	-
		新型コロナワクチン個別接種協力支援金支給件数	件	-	-	309
5	茨木市病院誘致あり方検討委員会運営事業 市内への病院誘致のあり方に関する事項について審議するため、茨木市病院誘致あり方検討委員会を設置し、運営事務を行う。	検討委員会開催回数	回	-	1	3

健康医療部
健康づくり課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	R1年度	R2年度	R3年度
1	住民健診事業 健康増進法等に基づき、市民を対象に各種健康診査やがん検診等を実施し、生活習慣病の予防、疾病の早期発見・早期治療並びに健康の保持増進を図る。	胃がん検診受診率	%	3	2.5	2.3
		肺がん検診受診率	%	8.5	6.5	7.4
		大腸がん検診受診率	%	8.2	6.3	7.1
		子宮がん検診	%	18	16.5	16.5
		乳がん検診	%	15.3	12.9	12.4
2	健康増進事業 健康増進法や食育基本法、「健康いばらき21・食育推進計画(第3次)」に基づき、市民自らの生涯にわたる健康づくりを推進する。	健康教育実施回数(健康づくりセミナー)	回	20	9	9
		健康教育参加者数(健康づくりセミナー)	人	1,290	210	196
		歯科疾患健康教育実施回数(出前講座)	回	17	8	13
		健康医療推進分科会開催回数	回	1	2	1
機構改革により実施事業の一部を子育て支援課に移管するなど、業務内容及び従事職員数の見直しを行った。						
3	地区保健活動事業 保健師等の地区保健活動を充実させるために、事業を整理し、活動を担う人材育成を計画的に行う。他課との連携や協働を強化し、市民の健康寿命の延伸と健康QOLの向上を目指す。	家庭訪問指導件数	件	4,496	5,223	24
		地区保健活動相談件数	件	3,529	700	716
		保健師人材育成研修	回	49	12	6
・東保健福祉センターの開設により、地区活動に従事する職員数の増を図った。 ・より効果的・効率的な事業実施を図るため、機構改正により、母子保健指導を子育て支援課で実施することとした。						
4	食育推進事業 市民が規則正しく、栄養バランスのとれた食事をする中で、健康な身体を維持するとともに、「食」を通じて、食卓を囲む人同士のコミュニケーションを豊かにし、こころの充実が図れる環境づくりを目指す。	離乳食講習会参加者数	人	666	221	290
		幼児食講習会等参加者数	人	155	41	78
		栄養相談個別相談者数	人	28	31	25
		食育推進ネットワーク会議等の開催	回	10	1	1
前年度までの実績に応じ、令和4年度目標値の見直しを実施した。						
5	予防接種事業(B類) 予防接種法に基づく各種予防接種を実施。感染症の発生及びまん延を予防するため、個人の発病又はその重症化を防止するために、各種予防接種を行う。また、任意予防接種のうち市が定めたものについて、一部公費助成を行う。	成人用肺炎球菌ワクチン被接種者数	人	1,698	1,796	1,527
		高齢者インフルエンザワクチン被接種者数	人	33,263	47,730	39,159

健康医療部
健康づくり課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	R1年度	R2年度	R3年度
6	感染症予防対策事業 新型インフルエンザ等、実際に感染症が発生した場合に対策が取れるように準備する。また広く感染症の予防について、蔓延防止のための指導を行う。	妊娠届出者へのマスク配付（10枚／人）	人	823	2,676	0
		消毒液の配布	ℓ	-	2,000	0
		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に係る発生動向の把握、市ホームページ等を活用した感染予防対策の啓発等 ・茨木市新型コロナウイルス対策本部会議の開催等（事務局：健康づくり課、危機管理課） 				
7	保健医療センター運営事業 市民の健康の保持及び増進を図るための拠点である当施設の維持管理を行うとともに、各種事業の円滑な実施を確保する。	指定管理料	千円	91,252	89,114	88,338
8	特定健康診査事業 高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、40～74歳の市国保被保険者に特定健診を実施する。糖尿病等の生活習慣病の発症予防のために、メタボリックシンドローム該当者、予備群を減少させるよう保健指導を必要とする人を抽出する。	特定健康診査受診率（実績確定値は次年度秋頃）	%	33.3	25.9	30
9	特定保健指導事業 特定健康診査の結果から抽出されたメタボリックシンドローム該当および予備群の人が、自ら生活習慣の課題を認識し、行動変容と自己管理を行い、健康的な生活を維持することができるよう専門職による支援を行う。また、健診受診者のうち、生活習慣病が重症化するリスクが高い人で医療にかかっていない人への受療勧奨を行う。	特定保健指導実施率（終了率）	%	69.5	71.6	60
		保健指導実施者（DMコントロール不良）	人	5	5	5
		特定保健指導に係る産官連携事業者（店舗）	か所	-	-	6
		<ul style="list-style-type: none"> ・受診勧奨方法の変更を行うなど、業務実施方法の効率化を図るとともに、従事職員数の見直しを行った。 ・特定保健指導と合わせ、重症化予防対象者への保健指導も実施した。 				
10	ヘルスアップいばらき推進事業 市国保被保険者の健康寿命の延伸及び医療費適正化を図るため、レセプト、健診情報等を活用した「データヘルス計画」を策定し、計画に基づいた施策及び事業を推進する。	特定健康診査受診率（実績確定値は次年度秋頃）	%	33.3	25.9	30
		アスマイルを活用した特定健診受診勧奨のため、窓口対応従事職員数の見直しを行った。				

健康医療部
健康づくり課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	R1年度	R2年度	R3年度
11	人間ドック等助成事業 市国保被保険者の生活習慣病の予防、疾病の早期発見・早期治療につなげるため、人間ドック・脳ドックの助成を実施し、被保険者の健康保持増進並びに医療費の適正化を図る。	人間ドック受診者数	人	656	494	609
		脳ドック受診者数	人	371	232	335
		令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えが減少し、受診者数が改善した。				
12	自殺対策推進事業 茨木市自殺対策推進会議及び自殺対策ネットワーク連絡会、関係機関等を活用し、自殺予防の啓発を行うことによる、自殺者数の減少を図る。また、専門相談窓口設置により、自殺願望者等に対する自殺予防に寄与する。	自殺者数（1月1日～12月31日）	人	31	38	30
		こころの相談室相談者数（こころの健康相談）	人	24	18	128
		ゲートキーパー養成講座実施回数	回	3	1	5
		自殺対策ネットワーク連絡会	回	2	-	2
		精神保健福祉士を雇用し、従事職員の見直しを行った。				
13	いばらき健康マイレージ事業 大阪府健康づくり支援プラットフォーム整備事業（アスマイル）に、市独自のインセンティブ「いばらき健活ポイント」を付与することで、健康づくりのきっかけづくりや継続の支援につなげ、健康寿命の延伸や生活の質の向上を図る。	アスマイル登録者数（累計）	人	4,499	9,905	12,658
		歩数ポイントインセンティブ獲得者数（延べ）	人	1,113	8,223	10,784
14	新型コロナウイルスワクチン接種事業 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止し、市民の生命及び健康を守るため、厚生労働省において薬事承認を受けた新型コロナワクチンを希望者に対して、円滑に接種してもらえる体制を構築する。	被接種者数（1回目）	人	-	-	220,846
		被接種者数（2回目）	人	-	-	219,395
		被接種者数（3回目）	人	-	-	91,543
15	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業 高齢者が地域で健康的な生活を送れるよう、大阪府後期高齢者医療広域連合からの委託に基づき、高齢者の健康の保持増進のため事業を実施する。事業の実施に当たっては、各地域特性や健康課題、高齢者一人ひとりの状況の把握に努め、後期高齢者医療、国民健康保険、介護保険、健康づくり等の庁内関係部局が相互に連携して一体的に取り組む。	高齢者に対する個別的支援（実人数）	人	-	-	114

健康医療部
長寿介護課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	R1年度	R2年度	R3年度
1	介護予防・生活支援サービス事業 要支援者等の多様な生活支援のニーズに対して、高齢者が在宅生活を続けることができるよう、多様な生活支援サービスの提供や体制の確保を図る。	訪問型サービスA従事者養成研修会の開催	回	2	2	2
		市独自サービス利用者数（延べ人数）	人	32,459	31,265	27,694
		通いの場への参加率	%	1.1	1.4	1.6
		地域包括支援センター等総合事業連絡会	回	11	9	11
2	在宅高齢者支援事業（一般会計） 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、生活環境を整えるとともに、各種サービスを通して在宅高齢者の自立支援を図る。	高齢者緊急通報装置設置事業	人	6,247	6,502	6,656
		ひとり暮らし高齢者等日常生活支援事業	人	257	232	263
		高齢者福祉タクシー料金助成事業	人	1,847	1,926	2,085
		高齢者訪問理美容サービス出張費助成事業	人	12	17	26
3	在宅高齢者支援事業（介護保険事業特別会計） 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、生活環境を整えるとともに、各種サービスを通して在宅高齢者の自立支援を図る。	高齢者ごいっしょサービス延利用者数	人	203	162	105
		高齢者紙おむつ等支給事業延利用者数	人	1,740	2,060	2,359
		高齢者食の自立支援サービス事業年間配食数	食	41,131	36,212	34,393
		シルバーハウジング生活援助員派遣事業	世帯	27	25	24
4	在宅医療・介護連携推進事業 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために、居宅に関する医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進する。	在宅医療・介護連携推進連絡会等の開催	回	2	1	1
		訪問看護の連携体制の構築	回	4	4	4
		はつらつパスポート連携編の配布	部	1,200	3,009	807
		三島医療圏在宅医療検討会への参画	回	2	0	0
5	介護保険サービス向上推進事業 サービス利用者等が介護保険制度を信頼し、安心して適正な介護サービスの提供を受けることができるように、サービスの質の確保及び向上に努める。	苦情調整委員会開催回数	回	3	1	1
		ケアプラン点検件数	件	214	161	204
		認定までの日数	日	40	34	37.9
		65歳以上人口に占める要介護認定者の割合	%	17.1	17.5	18.3
		介護相談員派遣回数	回	593	74	40

健康医療部
長寿介護課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	R1年度	R2年度	R3年度
6	介護保険料収納事業 第1号被保険者の保険料を適正に賦課し、徴収することにより、健全な介護保険制度の運営を行う。	介護保険料収納率	%	99.5	99.5	99.5
		滞納繰越保険料収入率	%	19.7	20.1	28.8
7	市内介護事業所の人材不足の解消と介護サービスの質の向上を図るため、介護福祉士の資格取得や次期リーダー養成研修の実施及び介護職員に住宅手当の支給を行う。	中堅介護職員向け研修 参加者数	人	9	-	9
		茨木市介護人材確保事業家賃補助金交付申請者数	人	10	7	4
		介護ファンタジスタ掲載件数	件	2	1	0
		再就職奨励金 交付者数	人	-	-	2
8	各種敬老・助成事業 高齢者を敬う各種事業の実施や生活を支える事業を実施し、心豊かな生活を実現する。	金婚式祝賀会申込組数	組	291	425	-
		男女最高齢者及び100歳高齢者数	人	61	73	63
		単身高齢者地域見守り事業参加者数	人	5,734	3,624	-
		高齢者世帯家賃助成金受給決定者数	人	661	635	628
		敬老祝金贈呈対象者数	人	61	73	63
9	一般介護予防事業 住民運営の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進し、要介護状態になっても生きがい・役割をもって生活できる地域の実現を目指す。	はつらつ教室参加延人数	人	8,784	4,294	2,562
		出張講座等参加延人数	人	4,156	1,389	1,647
		街かどデイハウス介護予防参加延人数（施設外）	人	1,872	740	587
		介護予防健康運動教室	人	12,876	4,271	1,686
10	認知症高齢者グループホーム利用負担軽減補助事業 グループホーム利用者に家賃の軽減を行った事業所に対し、その軽減分を事業所に補助する。	グループホーム利用負担軽減対象者数	人	22	35	44

健康医療部
長寿介護課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	R1年度	R2年度	R3年度
11	施設整備事業 国・府からの補助金を活用し、地域密着型サービス施設の整備に係る費用補助を行う。	整備整備・施設開設準備等補助数	か所	1	1	1
		火災報知設備等整備補助数	か所	0	0	0
		簡易陰圧装置設備補助数	か所	-	-	6

健康医療部
保険年金課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	R1年度	R2年度	R3年度
1	老人医療事業 高齢者の健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とし、高齢者に対し医療費の一部を助成する。	対象者数	人	1,115	1,000	3
		助成金額	千円	99,032	82,939	9,161
2	国民健康保険事業財政の安定化に向けて、国民健康保険料収納率向上を図るため、納付勧奨の推進や納付手段の拡充を図る。	国民健康保険現年分収納率	%	92.7	93.9	94.6
		国民健康保険滞納分収納率	%	24.3	26	28.1
3	国民健康保険医療費等適正化事業 国民健康保険事業財政の安定化に向けて、国民健康保険の医療費の適正化を図ることを目的とし、医療機関から提出されるレセプト（診療報酬請求書）等の点検を行うとともに、被保険者への啓発事業を行う。	一人当たりの医療費	円	412,460	399,817	431,992
4	国民健康保険オンラインシステム管理事業 茨木市は、「市民サービスの向上」「行政経費の削減」「行政内部事務の効率化」を目的とする情報システム最適化事業において、国保システムの再構築及び管理を行う。（H30本稼働）	国民健康保険オンラインシステム保守費用	千円	37,520	33,229	33,229
		制度改正等に伴う改修費用	千円	11,779	11,580	4,696
5	後期高齢者医療保険料徴収事務事業 後期高齢者医療制度の円滑な運用のため、保険料の収納確保を図り、高齢者に配慮した取り組みや対応を行う。	当初保険料納入通知書送付件数	枚	33,044	33,969	34,534
		後期高齢者医療保険現年分収納率	%	99.7	99.8	99.8
		後期高齢者医療保険滞納分収納率	%	52.7	53.1	60.1

健康医療部
保険年金課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	R1年度	R2年度	R3年度
6	国民年金普及啓発事業	年金相談実施件数	件	23,000	20,623	18,066
	日本年金機構との協力・連携により国民年金制度の普及・啓発や年金相談事業などを行うとともに、受給権確保のため、取得・喪失等各種届出の受付を行う。					
7	後期高齢者医療事務事業	被保険者数	人	33,462	34,080	35,370
	後期高齢者医療制度の適正な運営のため、大阪府後期高齢者医療広域連合への負担金等納付に係る事務、資格関係、給付等に伴う申請書等の受付や保険料の還付等を行う。	広域連合納付金	千円	3,883,022	4,188,827	4,274,352
8	国民健康保険料賦課事業	保険料現年度調定額	千円	5,768,020	5,519,960	5,543,616
	国民健康保険事業財政の安定化に向けて、加入者に対し国民健康保険料を賦課するとともに、重複払いや異動等により発生した過誤納金を還付し適切な収納を確保する。	還付金額（償還・一般）	千円	19,852	61,674	31,360
		還付金額（償還・退職）	千円	2	0	0